

おのみち 市議会だより

第51号
2月10日発行
令和7(2025)年

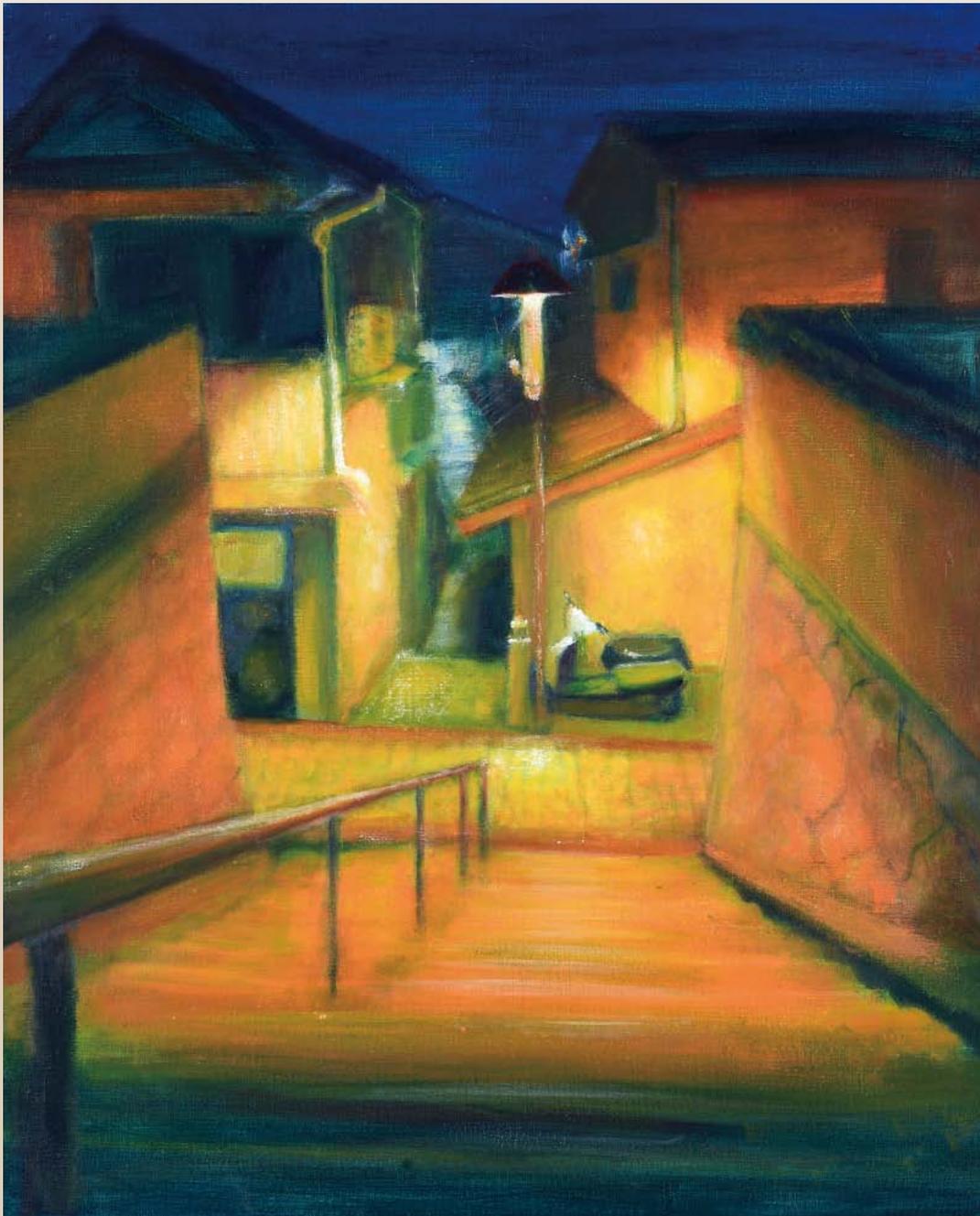


発行:尾道市議会 〒722-8501 尾道市久保一丁目15番1号 TEL(0848)38-9371 FAX(0848)38-9339

ホームページ <https://www.city.onomichi.hiroshima.jp/site/gikai/>

尾道市議会

検索



「暖色の夜」 有本 匠さん（広島県立熊野高等学校） 第12回高校生絵のまち尾道四季展「尾道賞」受賞作品

目次 12月定例会

特集1：令和5年度決算審査	2-3	請願/意見書	16
一般質問	4-11	委員会視察報告	17
常任委員会審査報告/特別委員会	12-13	特集2：市民の声をきく会	18-23
議案等に対する賛否一覧/ピックアップ議案	14-15	姉妹都市合同研修会/議会案内/編集後記	24

特集

決算審査

令和5年度決算を認定しました！

9月定例会・臨時会で提案された令和5年度決算認定議案については、議長および議会選出監査委員を除く26名の委員で構成する決算特別委員会（委員長：宮地寛行／副委員長：岡田広美）を設置し、慎重に審査を行いました。

審査の結果は、12月2日の本会議で報告し、討論、採決の結果、12議案すべてを認定しました。

尾道市一般会計・特別会計決算

（単位：万円 ※1万円未満切り捨て）

会計名	歳入済額		歳出済額		
	令和5年度	令和4年度	令和5年度	令和4年度	
一般会計	657億8,383	653億2,815	650億4,716	643億768	
特別会計	港湾事業	2億481	2億29	1億9,141	1億8,492
	国民健康保険事業	143億735	147億7,771	142億3,610	147億1,147
	千光寺山索道事業	8,252	9,414	8,252	9,414
	駐車場事業	7,907	7,658	7,907	7,658
	夜間救急診療所事業	8,163	7,724	8,163	7,724
	介護保険事業 (保険事業勘定)	171億6,063	170億2,129	169億4,921	166億3,250
	介護保険事業 (介護サービス事業勘定)	2,202	2,124	2,202	2,124
	渡船事業	6,086	4,650	6,086	4,650
	後期高齢者医療事業	25億201	24億5,271	24億4,550	24億114

尾道市上下水道事業・病院事業決算

会計名	収益的収支		資本的収支	
	収入	支出	収入	支出
水道事業会計	39億3,529	36億7,671	6億883	16億16
下水道事業	18億9,912	17億5,479	12億6,190	17億1,638
病院事業会計	141億4,195	143億3,029	3億10	9億3,469

代表監査委員に対する質問

問 市債残高が減少する傾向が継続する見込みを示した根拠は。

答 市債の償還期間の短縮化により市債残高を着実に減少させる取組や交付税措置率の高い起債の活用など行財政改革の継続的な取組などによって財政健全化の改善が進んでいる。

決算全般

問 決算年度中の期首・期末の地域福祉基金額は。

答 令和4年度末にあつては21億6,162万4,000円、令和5年度末にあつては22億5,805万3,000円である。

一般会計 歳入

くらし 地域活性

問 因島市民会館使用料が見込み額を下回った理由は。

答 コロナ禍をきっかけとした活動拠点の変更や本会館の老朽化を原因とした大ホール使用中などにより、使用件数が減少したため。

一般会計 歳出

くらし 地域活性

問 MaaS（マース）（※）社会実装事業のこれまでの利用状況は。

答 令和5年度は1,221人の利用実績があり、令和4年度の1,102人の利用実績をはじめ、今年度も利用者数が増えていることから年々増加傾向にある。

（※）Mobility as a Service の略。地域住民や旅行者一人一人のトリップ単位での移動ニーズに対応して、複数の公共交通やそれ以外の移動サービスを最適に組み合わせる検索・予約・決済等を一括で行うサービス。

問 耕作放棄地の解消に向けた取組は。

答 農業委員、農地利用最適化推進委員の地域での活動や農地バンク制度の充実を図りながら、担い手の集積に取り組んでいる。都市部在住の方や法人から遊休農地の活用について相談があった場合は、貸付可能な農地の説明をし、地区の農業委員につないでいる。

問 因島技術センター支援事業における安全体感研修について、対象と研修内容は。

答 造船・船用工業従事者のほか、国内の全ての製造業の従事者を対象に、製造現場で起こり得る労働災害を実際に体験してもらい、安全意識の向上と危険回避能力の向上を目的に実施している。

問 空き家の発生に対する関係課の連携は。

答 空き家になる可能性の高い高齢者世帯については、関係課で連携し、啓発のリーフレットの配付等対応をしている。

問 東御所緑地の除草剤散布の実施状況は。

答 除草剤散布は、年2回、業者に委託している。委託業者と職員は、適正な農薬使用のための研修を受講している。

一般会計 歳出

衛生 福祉

問 民生委員活動事業の成果と課題は。

答 本事業は、高齢者の見守りに限らず、地域の困り事について幅広く相談を受けて、関係機関につなぐことができている。課題としては、成り手不足や負担感の問題である。

問 医師確保奨学金事業に関わり、募集や制度の周知方法は。

答 市のホームページや広報への掲載以外に、市内の各高校や県内の医学部進学実績のある高校、中四国管内の大学や、貸付している学生が在籍している大学へ募集資料を配布している。市内の一部の高校へは、直接訪問して説明している。

一般会計 歳出

教育関係

問 不登校児童生徒への支援における、学びにアクセスできない子ども達をゼロにする具体的な取組は。

答 不登校児童生徒の状況により支援方法は様々あるが、例示としてSSR（スペシャルサポートルーム）等での学び、また、その場所からオンラインによる学びもできるようにしている。保護者と連携しながら取り組んでいる。

国民健康保険事業会計

問 保険料の収入未済額が前年、前々年度と比較して増加している要因は。

答 加入者の内、高齢者や派遣労働者、失業者は所得が低いため期限内納付が困難な方が多い。若年層では、納付意識が希薄なため納付が難しくなっている状況がある。令和5年度では物価高騰が大きく影響を及ぼしており、コロナ禍で個人事業主等の破産が増えていることも要因と考えている。

病院事業会計

問 令和6年2月に特別利益として補正された一般会計からの繰り入れの内容は。

答 計画的に医療機器等を購入するために経営基盤強化として繰り入れたものである。病院の経営状況や留保資金の状況等で双方協議を行い、市民病院、公立みつぎ総合病院の両病院が将来に向けて安定的に経営を維持していくために必要であると判断した。



市民連合
まつばら せいじ
松原 正侍



海事産業の発展について

議員 海事産業の発展と人材確保・人材育成についての取り組みはいかがか。

市長 職業訓練事業などに対して人材育成支援を行っているほか、海事産業の魅力を伝える「造船鉄工祭」への支援など、次世代の担い手確保につなげる取り組みに努めている。

公契約条例について

議員 安全・安心な公共サービスの提供に向け「公契約条例」の制定に議論を始める時だと考えるが、いかがか。

市長 賃金支払いなどの状況把握方法など課題がある。適正な労働条件の確保は法令の遵守や見直しにより国全体の政策として実施されることが望ましい。

ワーク・ライフ・バランスの実現に向けたまちづくりについて



市民連合
だんじょう まさき
檀上 政樹



災害時における避難所運営について

議員 熊本地震や能登半島地震では直接死よりも災害関連死の方が数を上回った。災害時の避難所運営で国際基準の「スフィア基準（水：1人1日最低15リットル、トイレの数：20人に1つで男女比1：3、居住スペース：1人3.5㎡必要）」がある。平成30年豪雨災害後の議会で「スフィア基準」について指摘されたが、市はその後、避難所運営マニュアルについて見直しを行ったか。災害関連死を防ぐ意味でも「スフィア基準」に基づいた避難所運営を目指すべきだと考えるが、いかがか。在宅避難や車中泊避難した場合の避難者への支援は。

市長 災害関連死を防ぐため「スフィア基準」の考え方は重要である。本市も見直しを行い、女性専用トイレ確保や女性用更衣室、痴漢対策等マニュアルに記載し、避難所環境の改善に努めている。

議員 働き方改革の実践報告などを市ホームページに掲載し周知してはどうか。

市長 働き方に関する制度の説明や相談窓口の周知に努めている。また育児休暇の取得推進等働き方に関する周知を行っている。

子どもたちの勤労観・職業観について

議員 就職活動の時に市内の企業が選択肢の一つになるような取り組みとして、地域の特性を活かした産業、企業の魅力などについて体験などを行う教育内容の取り組みはいかがか。

市長 小学校では総合的な学習での地域の伝統文化等の特色調べを行い尾道の良さや魅力を学んでいる。中学校では海事産業に着目し、造船や海の生態系とのかかわりを学び将来の生き方についても考えることのできる学習に取り組んでいる。

一般質問を終えて…

尾道の企業努力をサポートし、子どもたちが就職活動の時に市内の企業が選択肢の一つになり、尾道に帰って来られる政策が必要だと思っています。

在宅避難や車中泊避難者に対しては指定避難所でトイレや給水、物資提供を受けることができる。状況に応じて仮設トイレや給水施設等応急設置する必要はある。いずれの避難者に対しても負担が少なく安心して生活できる環境づくりに取り組んでいく。

島根原発事故時の避難者受け入れについて

議員 島根原発で万が一事故が起き、避難指示が出た際には、本市において松江市から最大で約13,000人の避難者を受け入れることになっているが市民は知っているのか。受け入れ時に地域住民が混乱しないよう、あらかじめ市民に周知すべきでは。

市長 市ホームページに掲載して周知を行っている。その中に島根県や松江市の広域避難計画もリンク先を掲載し、避難の流れ等確認できるようにしている。避難された際には島根県や松江市、広島県と連携して支援していく。

一般質問とは、議員が、定例会において、行政全般にわたり、行政全般にわたり、市の事務の執行状況や将来の方針について執行機関（市長など）に質すことです。氏名横の二次元バーコードをスマートフォンなどで読み取っていただくと各議員の実績の本来議会の質問動画を見ることが出来ます。



木曜会
なかにし かいと
中西 海斗



福本渡船廃業後の市の対応について

議員 来春、市民の足として長く親しまれてきた福本渡船が廃業することとなった。これにより、市民生活に様々な影響が予想される。以下の点について質問する。

- ①朝夕のラッシュ時や繁忙期、イベント時の対応について
- ②福本渡船の航路を第三セクター化し残す場合、予算としてはどのくらいの額になるのか。また、そのうえで、福本渡船の航路を第三セクター化して残すことは可能か。

市長 おのみち渡し船（株）の航路では、通常1隻運行しているが、混雑時には2隻運行を行い、積み残しを防ぐ。イベント時などでは利用時間の分散や他の交通手段を活用するよう促している。船舶等の整備には、過去の実績から10億円以上の費用がかかると見込まれる。今後は代替航路や架橋の利用が進むことが予想される

が、大きな混乱は生じないと考えている。そのため、第三セクター化による航路の継続は検討していない。

議員 福本渡船の航路は、立地適正化計画の観点からも、これからのまちづくりにおいて重要な航路である。国は地域の重要な交通機関を整備するための交付金を設けており、その一つである都市地域交通戦略推進事業交付金を活用すれば、国から費用の2分の1の補助を受けることが可能である。また、尾道市地域振興基金も有効な財源として利用できる。この基金は合併特例債を原資に積み立てられたもので、令和5年度末時点で40億円の残高がある。この基金を活用することは、市民生活や地域経済に資する正当な使い方と言える。国の交付金と基金を組み合わせることで、130年以上にわたり地域を支えてきた福本渡船の航路を存続させるべきである。

市長 立地適正化計画の視点から重要性は理解しているが、基金は制度上、ハード面での利用は令和8年度以降となる。また、資金面だけでなく人的支援も必要であり、継続は現実的ではないと考える。



木曜会
つちや さきこ
土屋 咲子



学校体育館への空調導入について

議員 教育環境のみならず、災害時に指定避難所となる体育館の空調が求められているが、市は前向きな考えがあるか。

市長 体育館の空調設備は、教育環境向上の観点から検討している。

議員 空調のない体育館における熱中症等の健康被害リスクについて如何お考えか。

教育長 猛暑の中、体育館が避難所となる場合は、教室の開放を検討する。

議員 体育館の空調整備の財源として、国の学校施設環境改善交付金を活用しうる。2025年度まで補助率が3分の1から2分の1に引き上げられているが、同交付金を活用し本事業に着手する考えは。

教育長 国の動向を注視しながら検討を進めたい。

二地域居住促進について

議員 改正広域的地域活性化基盤整備法が令和6年11月に施行された。今後、本改正法を活用した空き家対策や遊休農地対策、シェアオフィス立上げ等、市の実情に応じた地域活性化基盤整備事業が拡充されることを期待する。

市長 二地域居住とは、都市部と地方部に2つの拠点をもち、定期的に地方部で生活するライフスタイルである。今回の法改正で、都道府県が二地域居住に係る内容を含む「広域的地域活性化基盤整備計画」を作成した際に、市町村において、二地域居住を推進するための「特定居住促進計画」を作成することが可能とされた。空き家バンクやシェアオフィスなど、関連施策の推進に活かすことも含め、地域の実情に応じた活用の可能性について検討していく。



木曜会
ほしの みつお
星野 光男



消防団の定数等について

議員 全国的に消防団員数が減少している。(10年間で約10万人減)本市の消防団員は1,415人(令和6年4月現在、条例定数は1,716人)

市消防局は市内の消防団の現状や、今後の方針を検討するための調査を行った。調査の内容は分団や消防団定数見直しの必要性や、災害対応などを考慮した団員数・地域的な実情、要望などであった。

- ①調査結果はいかがか。
- ②消防団定数の見直し等が行われるとしたら、どのような方針で定数を導き出すのか、また、条例改正に向けたスケジュールはどうか。
- ③一部の自治体では、一般的な消防団員の減少による消防団の機能低下を補う目的で学生団員、機能別団員の制度があるが、本市ではどのようなになっているか。



木曜会
おおもと かずひで
大本 和英



「尾道市子ども計画」策定のための中高生・若者アンケート調査結果について

議員 「尾道市子ども計画」策定のための中高生・若者アンケート調査結果における尾道市に住み続けたくない理由(※)について、どのように分析し、今後、どのように取り組もうと考えているか。

※働きたい仕事・職場がない。娯楽施設が充実していない。買い物が不便である。日常生活における交通の便が悪い。文化・スポーツ・レジャー施設が充実していない。

市長 魅力的な仕事の有無や生活サービスの水準は、定住意識と密接な関係にあり、広域的な視点からの検討も必要であると認識している。ライフスタイルに応じて変化する住まいのニーズに対応した住環境を確保する取組や子育て支援の充実など、若い世代も含めて誰もが尾道で暮らしたいと感じるまちの魅力の創出に取り組ん

市長 ①消防団全45分団のうち、「定数の見直しが必要」と答えた分団は30分団。「分団や部の統合が必要」と答えた分団は27分団。

②国が示す消防力の整備指針に基づき、本市の消防団組織体制を検討し、地域の実情に応じて火災の警戒・鎮圧、災害時における住民の避難誘導など必要な業務を円滑に遂行するために必要な団員数を導き出す。さらに、整備方針に沿って消防団幹部及び分団に示し、消防団条例定数を含めた組織再編案をまとめ、令和8年度の条例改正を目指す。

③現在『尾道市学生消防団活動認定制度実施要綱』を策定し、尾道市立大学及び福山大学にパンフレット配布などを行い学生団員の確保に取り組んでいる。機能別団員制度は、多角的な地域防災力確保のため、一つの手段として捉えているが、機能別団員により定数を充足するのではなく基本団員の確保が重要であり、制度の導入については、今後、研究していく。

でいる。

現在作成中の立地適正化計画などに基づく施策連携を進めながら、将来にわたって誰もが安心して暮らし続けられるまちづくりを推進していく。

娯楽や文化・スポーツ・レジャーについては、人が集い、憩い、交流を深める場として、これまで、各地域に大型遊具を設置したり、体育館やグラウンドの整備などを行っているが、引き続き、「日本遺産のまち尾道」、「スポーツタウン尾道」といった本市の歴史や文化、自然環境の魅力を活かしたまちづくりを進めていく。

各種制度の広報・周知の充実や市民ニーズの把握に努めるとともに、多様な就業機会の創出に向け、地域未来投資促進法を活用した事業者の誘致や、新たな産業団地整備の可能性を探っていく。

居住継続意欲を示した7割の若者のみならず、市民の皆様にも今後も住み続けたいと思ってもらえるよう、「ウェルビーイングのまちづくり」に取り組んでいく。



潮風おのみち
いしもり けいし
石森 啓司



一気に進む少子化問題について

議員 5年先、10年先を見ると、驚くほどのスピードで少子化が進むことが予想される。どの市町も「人口の奪い合い」という現象が始まっており、とりわけ、子どもを抱えた20代から30代の女性たちは生活しやすい市町を選んで流出している。現在24校の小学校は、10年先には13校で十分という予測もあり、今後、児童数が増えることは考えられない。新たな学校再編計画の策定にあたっては、短いスパンでは難しいとのことだが、そのように悠長な対応でよいのか。一刻も早く取り組む必要があるのではないのか。

教育長 教育の質の向上や教育環境の充実を目指し、小中一貫教育校への移行を視野に入れながら、適正な学校規模の見直しや学校施設の老朽化への対応、通学対策等さまざまな視点から検討する必要があると考えている。幅広く保護者や地域の方等の意見を聴取し、計画を策定でき

るよう、来年度、小中学校の在り方検討委委員会の設置を考えている。

統合後の跡地の利活用について

議員 旧久保小学校、旧長江小学校、旧土堂小学校の跡地の利活用について、どのように考えているのか。

教育長 校舎には耐震性がなく、建築後、約60～90年が経過し、老朽化が進んでいるため、耐震化しての活用は困難と考えている。引き続き、検討を進めていく。



潮風おのみち
まえだ たかと
前田 孝人



新市民病院は新高山の現地で建替えを夜間救急、休日診療所を新病院に併設

議員 新市民病院の新築論議が始まっている。私は東尾道へ移転新築するのではなく、新高山の現在地に建て替えるべきであると言いつけている。現在地へ建て替えることで現新館病棟や平成20年に8億円強をかけて建設した救急棟はまだまだ使える。この救急棟に総合福祉センターへ外出ししている夜間救急診療所を戻すべきであり、あわせて午後8時から午後11時までの診療時間を従前の翌朝7時迄に戻すよう求めてきた。また市民目線からみると市民病院に併設しているからこそ安心感があり頼りになる。そのことが取りも直さず市民病院の強みであったと考えている。この新病院建て替えを機に新市民病院への併設に戻すよう声を大にして求めているものである。

ところで日・祝日に診察を行っている当番医は内科、外科また小児科もあり市民、特に子どもを

持つ親にとってはとても有り難いものである。しかしどうも腑に落ちないシステムだと思う事がある。休日に病気になった時には、まず一番に当番医がどこか、また場所とは調べ探さなければならぬ。その後急いで行っても駐車場が狭く車を止められないという事もあり、高熱等でぐずる子どもを抱えて困ったとも聞く。なぜ病人をかかえて大変な私たちがその都度当番医を探さなければならぬのか。どこか常設の休日診療所があればそんな心配や苦労はしないのという疑問や意見を市民特に若いお母さん達からよく聞く。そこへ医師に当番として順番に出向いていただくものである。もちろん医師会等の先生方のご理解とご協力があることではあるが、県内の14市を見ても多くが休日診療所に対応している。市民ファースト、市民の安心安全からみても当然の対応である。なぜ尾道市では出来ないのか。いややろうとしないのか。建設予定の新市民病院に夜間救急診療所と合わせて新規に休日診療所の開設を求める。

市長 市民病院が持続可能で質の高い医療を提供するには、それぞれの役割の中で医療体制を充実させることが最適と考えており夜間救急及び休日診療所の併設は考えていない。



公明党
むらかみ くみ
村上 久美



子育て世帯への訪問支援事業の推進

議員 法改正を受け、事業推進に向けて、市ではどのような取組がなされているか。

市長 「児童育成支援拠点事業」については、全国2番目となる「こども第3の居場所」を市内に3か所開設。「子育て世帯訪問支援事業」については、本年度事業開始。「親子関係形成支援事業」についても、現在、策定中。

議員 「子育て世帯訪問支援事業」概要・実施状況は。

市長 18歳未満の子どもがいる家庭又は妊婦のうち、ヤングケアラー・若年妊婦や養育を支援することが特に必要な家庭等を対象に、食事の準備・片付け・掃除など家事支援、授乳・食事介助・おむつ交換などの育児支援、子育て等に関する不安や悩みの傾聴や相談、地域の母子保健や子育て支援施策などに関する情報提供を行う。

議員 この事業や訪問支援員の養成・確保に

ついて、市と民間が連携して取り組んでみては。

市長 現在、市内の訪問介護事業所1社と契約。今後も民間企業との連携を図ってまいりたい。民間の専門職養成機関との連携についても、しっかり研究し、訪問支援員の質の向上や人材確保の支援体制を民間企業と連携を図る。

議員 男性職員の育児休業取得期間の状況と、推進に向けた取り組みは。

市長 令和5年度、一人あたり平均取得日数は77.6日。引き続き、より効果的な手法を研究し、男性職員の育児休業取得をさらに推進していく。

自転車ヘルメットの助成を！

議員 昨年調査研究すると言われたが、他市の状況は。

市長 県内で、助成していないのが本市を含め14市、助成しているのが9市町。

議員 中学生の半額助成から開始しては。

教育長 中学生の自転車通学は希望制であり、校長が認めた場合に許可している。一律に助成を行うのは難しい。



公明党
ふくはら けんじ
福原 謙二



終活サポート事業の取組

議員 他の自治体が終活サポート事業に取り組んでいるが尾道市の方針は。調査研究はしているか。

市長 本市も身寄りのない高齢者が抱える終活に関する課題、住まいに関する不安などが顕在化している。高齢者が安心して暮らせるよう、包括的な相談、終活ACPで「自分ノート」など活用の取組をしている。終活サポートは重要な課題であると認識し関係団体などで構成する「おのまる会議 権利擁護部会」を設置し支援体制の構築に着手している。国の身寄りのない高齢者への支援強化など動向を注視しながら総合相談窓口機能を持つ「中核機関」の設置などについて検討を重ねている。

家族介護用品助成券交付事業

議員 家族介護用品購入助成券交付事業につ

いて。その他消耗品は時代の変化により見直しをするべきでは。

市長 国からの地域支援事業のうち介護用品事業は平成27年4月からの第6期介護保険事業計画において対象外とされ激減緩和処置として、一定の要件の下で第9期も実施している。今後、地域支援事業の対象外となる可能性を見据え、本事業を持続可能とするため対象者や助成額、対象品目の見直しの検討が必要であると認識している。

小中学校統廃合の在り方

議員 小中学校の統廃合の在り方・学校再編の名称判断基準は何か。

教育長 学校再編では、小中一貫教育を視野に入れながら児童生徒数の推移等、さまざまな観点から検討をしている。学校名の判断基準は、再編基準に該当する学校と該当しない学校がある場合基準に該当しない学校名としている。再編対象学校の全てが再編基準の場合は、新設校となり新たな学校名となる。重井小中学校の再編では教育環境の充実や通学支援などの要望を取り入れ校名変更しない方向性で進めていく。



平成会
にのみや ひとし
二宮 仁



新病院建設を前提とした経営方針を聞く

議員 市民病院の赤字への公立病院としての認識は。また、4月から医師の働き方改革が始まり、6月に診療報酬改定もあった。物価上昇もある。経営への影響は。さらに施設基準に基づく基本診療料の課題は。医師数と平均年齢からの課題は。新病院後の経営シミュレーションは。

病院事業管理者 市内3割となる約2,200台の救急車受け入れ、その約6割が入院している。重要な役割、使命であり、今後も収益確保に努めながら公立病院として必要な部門は不採算であっても果たす。診療報酬の改定や物価高騰は経営に厳しい情勢となっており、費用圧縮にも努め健全経営を目指す。施設基準の変化に応じた届出は的確に行っているが、病院内で共有し、届出基準を満たす取り組みを行い、収益性の向上を図る。常勤医師数は33人、医師の平均年

齢は47.7歳。今後の退職者見込みも考え、常勤医師の確保、特に若い医師確保が重要な喫緊の課題と考えている。今年の採用もあり、引き続き確保に取り組む。最新の情報を考慮し、新病院建設に基づく経営計画は現在広島県に提出し、精査中となっている。

AI・チャットボットの活用方針を聞く

議員 昨年も同じテーマの質問をしたが、答弁から1年が経過した。いまや大学入学時のオリエンテーションはチャットボットが対応し、子どもたちへの教育ツールとしても利用が始まっている。文章生成AI、質問にAIが答えるチャットボットの活用についてどう進歩したか。

市長 文章生成AIの有効性は認識しており、ガイドラインを定めて職員の研修も行っている。チャットボットの回答は最新情報に基づく必要があり、適確性に課題がある。一方で、市民が窓口に出向くことなく、好きな時間に情報を容易に得られることが最大のメリットと認識しており、研究を続ける。



日本共産党
うおたに さとる
魚谷 悟



市民の暮らしの認識について

議員 決算では年金生活者、農業、漁業者などの個人事業者の所得は減少していたが、この状況を市長はどう受け止めているか。

市長 物価上昇で、各家庭、事業者ともに影響を受けている。政府は「総合経済対策」を決定しているので、国・県の施策と連携して取り組んでいく。

病院建設について

議員 新病院は何名の常勤医師で運営されるのか。数年赤字経営だが、新病院が黒字になる根拠は何か。

病院事業管理者 新病院における常勤医師数は27人で計画、病院運営は可能である。黒字化には、経営改善が重要である。

小中学校の給食費無償化について

議員 全国で約3割の自治体が実施し、県内でも大竹市、安芸高田市が実施。三原市では第2子から無償化。尾道市でも実施しては。

教育長 多額の財政負担を伴うので、実施については、慎重に検討していきたい。

教育問題について

議員 尾道みなと小学校の校舎建設はどうか。4階にプールを作る理由は何か。重井小・中と因北小・中の統合後は、因北小・中の校舎を使用するのに、それより新しく新基準で建てられた長江中の校舎を使わないのはなぜか。

教育長 校舎建築費は27億9千万円。グラウンド面積を確保するためである。校舎の新築は、東側敷地を他の用途へ転用するためである。

避難所について

議員 避難所になっている体育館に空調を設置すべきではないか。避難所は台湾のようにプライバシーが守られる設備はあるのか。

市長 国の動向等を注視しながら検討を進めていく。避難所の段ボール間仕切りを活用して、プライバシーの確保体制を整えている。

一般質問とは、議員が、定例会において、行政全般にわたり、市の事務の執行状況や将来の方針について執行機関（市長など）に質することです。氏名横の二次元バーコードをスマートフォンなどで読み取っていただくことと各議員の実際の本会議での質問動画を見ることが出来ます。



無所属
 (※現在は、おのみち会)
 につ けんじ
新田 賢慈



太陽光発電施設の設置について

議員 太陽光発電施設の設置・撤去にかかる市の対応について伺う。

市長 発電事業者の自主的な取り組みとして、周辺環境への配慮、事前周知のポスティングや説明会を開催している。施設の維持管理及び事業廃止時の撤去については、事業者の責任において適切に対応されるべきである。

発達障害のある子どもと保護者への支援について

議員 発達障害のある子どもと保護者に対する市の対応について伺う。

市長 本市では、4か月児、1歳6か月児、3歳児時に集団での乳幼児健康診査を実施。発達障害かどうか分かる時期としては、3歳頃まで抱かれるのを嫌がる、言葉が出ないなど比較的早期に目立ち始め、6歳頃までであれば、

集団生活が苦手であったり、強いこだわりや癇癩などといったサインから発達障害と診断される。発達障害と分かった場合の支援について、療育施設を利用する際には、市の保健師が療育施設への連携やその後のフォローを実施している。療育施設を利用するようになった後も、障害児相談支援を実施する相談支援専門員によるモニタリングの際には、心身の状況、児童の置かれている環境や保護者の意向等を伺い、関係者と連絡調整等を行う。療育手帳や障害者手帳は申請に基づいて交付される。申請窓口はいずれの手帳も社会福祉課及び各支所で行っている。療育手帳は、「広島県東部こども家庭センター」で、本人や保護者への面接や本人の知能検査・発達検査などを行う判定会と医師の診断書により判定が行われ、手帳の交付となる。発達障害の相談と啓発は、社会福祉課、因島福祉課、「尾道市障害者サポートセンターはな・はな」で行い、障害者手帳の交付に関する相談、申請窓口の案内や手帳を必要とする制度の紹介などの支援もしている。健康推進課による発達相談や「おのみち子育て支援センター」でも、相談事業を実施している。



無所属
 (※現在は、おのみち会)
 まきはた しんいち
巻幡 伸一



地方創生について

議員 地方創生の中でも重要な、持続可能な地域づくりに中小企業の育成、新たな産業、特性を活かしたビジネスモデルが求められるのでは。

市長 DX推進補助金や中小企業融資制度により、業務の効率化や生産性向上に向けた支援を行っている。マーケティング支援は、販路開拓支援事業による直接的な支援のほか、企業ニーズの把握や解決へのサポートを行っている。ビジネスモデルの開発は、工場等設置奨励制度、創業、開業等支援事業など、企業立地や雇用の促進を図るための支援制度や創業に関する相談窓口を設けている。観光産業が今後の成長や雇用の創出が見込める産業と捉えている。

づくり」への取り組みは。

市長 環境づくりには、多世代が集まりビジョンを話し合う場に講師を派遣している。何かにチャレンジしたい人を応援する「若者チャレンジ講座」を設けて地域活性化を目的とした起業も支援している。大学や高校に定期的に訪問し情報交換を行い、高校の教職員による企業見学ツアーも主催している。地元イベントでは、「造船鉄工祭」は若い従業員が中心となって、工場を一般公開し技術のPRなど、モノづくりの魅力を発信している。

尾道市人口実態について

議員 人口減少の対策として地方分権を取り入れ、スピードを超越する荒療治が必要ではないか。

市長 国が、今後10年間の地方創生の基本構想を策定する予定なので、本市においても、新たな視点を持った施策を進めてまいりたいと考えている。

若者の定住促進と雇用創出について

議員 若者が定住したくなる「魅力ある地域

総務経済委員会

付託議案 議案第104号・議案第105号・議案第109号・議案第114号～
第119号・議案第123号・議案第125号・議案第127号～
第128号・議案第132号・議案第134号～第136号

総務経済委員会委員長：巻幡 伸一

問 市役所本庁の駐輪場整備の概要は。

答 現在、公用車専用駐輪場として利用している旧市民会館の跡地を区画変更し、72台の自転車を止められる駐輪場を新たに設置予定であり、職員をはじめ来庁者に使用していただきたい。

問 門田トンネルの照明更新工事に対する700万円の補正理由は。

答 一部設計費の中に組み込まれていなかった安全管理のための仮設照明の経費、人件費や高騰している資材などを積算した額である。

問 市が建造する渡船を無償で貸与することで、事業者の経営状況がどのように改善されるのか。

答 新型コロナの影響等により経営も厳しく、新たに船を建造する体力もない状況である。今回、新造する渡船を無償貸与することで、収支の改善も見込まれ、今後においても持続可能な運営につながるものと考えている。

【議案以外の委員会所管事務に関する質疑】

- ・違反建築物防止に向けた対策
- ・宿泊税を導入した場合の市への波及効果について
- ・インバウンド価格の導入検討について
- ・指定避難所に指定された体育館への冷暖房設備の整備について
- ・市とおのみち観光協会の連携について
- ・避難訓練実施に伴う市民への通知方法
- ・維持修繕に関する要望状況

など

＜審査結果＞

付託を受けた17議案は、審査の結果、議案第135号及び議案第136号については、賛成多数で可決すべきものとし、残る15案については、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

委員会審査の様子はこちら



福祉環境委員会

付託議案 議案第104号・議案第106号～第108号・議案第110号～
第113号・議案第124号・議案第127号・議案第129号～第131号・議案第133号

福祉環境委員会委員長：前田 孝人

問 西浦保育所耐震改修事業の入札不調の理由と今後の対応は。

答 1回目及び2回目の入札は、ともに予定価格超過となったため入札不調となった。今後については、工事エリア確保のために隣接地を借用すること、地盤改良を想定して工期の延長ができるよう増額補正して対応する。

問 物価高騰重点支援臨時給付金給付事業の内容は。

答 国会での補正予算議決が前提の実施であり、給付の時期は市議会での補正予算が議決されたら早急に調整し、2月末までには申請の要らないプッシュ型での給付を考えている。

問 新型コロナワクチン接種に係る健康被害救済制度の認定を受けた方への対応は。

答 遺族の方に来るだけ早く給付できるよう対応し、給付方法については、一括でお支払いする予定である。

【議案以外の委員会所管事務に関する質疑】

- ・家族介護用品購入助成券交付事業の対象品目
- ・公共下水道と浄化槽にかかる費用について
- ・大気や水質汚染に対する市の認識と汚染状況の公表
- ・太陽光パネルの処分対応について
- ・日常的な医療にかかる橋代の補助、地域医療の考え方
- ・まちなかフードパントリーの利用状況
- ・人口減少・少子化問題の認識
- ・広島県の子ども医療の遅れと国県への要望について
- ・ヘルプマーク・ヘルプカードの周知 など

＜審査結果＞

付託を受けた14議案は、審査の結果、議案第124号については、賛成多数で可決すべきものとし、残る13案については、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

委員会審査の様子はこちら



固 債務負担行為にかかわり、学校給食配送車の借り上げについての内訳は。

固 学校給食の配送車両のリース契約に係る債務負担行為で、中学校給食を開始するに当たり4台を給食の配送車両として借り上げるものである。令和8年からの使用となるが、車両に架台等の特別な装備をする必要があり、その改装に要する期間のため、今の時期にリース契約を結ぶ必要がある。

【議案以外の委員会所管事務に関する質疑】

- ・教育委員会議における傍聴者定員の検討状況
- ・教育委員会議規則の請願規定の導入の検討状況
- ・男女混合名簿のメリットとデメリット
- ・PTAからの要望に対する対応について
- ・不登校児童生徒保護者の親の会等の開催状況
- ・出生数による生徒数の減少率と教育の成果との関係
- ・学校給食における地産地消率の改善対策
- ・学校再編計画における尾道市立小中学校の在り方検討委員会の内容
- ・学校選択制度の主旨・目的が現制度に反映されているか
- ・チーム担任制の導入の検討など

《審査結果》

付託を受けた6議案は、審査の結果、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

委員会審査の様子は
こちら



市民病院建設調査特別委員会を 設置しました

市は、市民病院を移転する計画を示して、今年度末までに市民病院建設基本計画をまとめる予定としております。尾道市議会として、市民病院建設についての諸問題に関する調査を行うため、市民病院建設調査特別委員会を設置しました。

市民病院建設調査特別委員会（定数8人）（◎委員長、○副委員長）

- | | | | |
|--------|--------|-------|-------|
| ◎佐藤 志行 | ○岡田 広美 | | |
| 中西 海斗 | 魚谷 悟 | 村上 久美 | 前田 孝人 |
| 新地 貴史 | 宮地 寛行 | | |

議案等に対する賛否一覧

P … P15のピックアップ議案で一部を解説!!

○：賛成、×：反対、-：欠席、議：議長（議長は採決に加わりません）

議案番号	件名	議決結果	松原正侍	檀上政樹	土屋咲子	中西海斗	冠匡晃	村井温子	魚谷悟	岡野長寿	岡田広美	山根基嗣	二宮仁	大本和英	岡村隆	村上久美	福原謙二	前田孝人	石森啓司	宇根本茂	新地貴史	吉和宏	佐藤志行	星野光男	村上隆一	宮地寛行	高本訓司	巻幡伸一	新田賢慈	藤本友行	
議案第72号	決算認定について（令和5年度尾道市水道事業会計）	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	-	○	○	○	○	○	○	○	
議案第73号	決算認定について（令和5年度尾道市下水道事業会計）	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	-	○	○	○	○	○	○	○
議案第74号	決算認定について（令和5年度尾道市病院事業会計）	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	-	○	○	○	○	○	○	○
議案第94号	決算認定について（令和5年度尾道市一般会計）	認定	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	-	○	○	○	○	○	○	○
議案第95号	決算認定について（令和5年度尾道市港湾事業特別会計）	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	-	○	○	○	○	○	○	○
議案第96号	決算認定について（令和5年度尾道市国民健康保険事業特別会計）	認定	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	-	○	○	○	○	○	○	○
議案第97号	決算認定について（令和5年度尾道市千光寺山索道事業特別会計）	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	-	○	○	○	○	○	○	○
議案第98号	決算認定について（令和5年度尾道市駐車場事業特別会計）	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	-	○	○	○	○	○	○	○
議案第99号	決算認定について（令和5年度尾道市夜間救急診療所事業特別会計）	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	-	○	○	○	○	○	○	○
議案第100号	決算認定について（令和5年度尾道市介護保険事業特別会計）	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	-	○	○	○	○	○	○	○
議案第101号	決算認定について（令和5年度尾道市渡船事業特別会計）	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	-	○	○	○	○	○	○	○
議案第102号	決算認定について（令和5年度尾道市後期高齢者医療事業特別会計）	認定	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	-	○	○	○	○	○	○	○
報告第39号	専決処分報告及びこれが承認を定めることについて	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	-	○	○	○	○	○	○	○
議案第137号	教育委員会の委員の任命につき同意を定めることについて	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第138号	固定資産評価審査委員会の委員の選任につき同意を定めることについて	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第139号	農業委員会の委員の任命につき同意を定めることについて	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第104号	令和6年度尾道市一般会計補正予算（第4号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第105号	令和6年度尾道市港湾事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第106号	令和6年度尾道市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第107号	令和6年度尾道市夜間救急診療所事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第108号	令和6年度尾道市介護保険事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第109号	令和6年度尾道市渡船事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第110号	令和6年度尾道市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第111号	令和6年度尾道市下水道事業会計補正予算（第1号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第112号	令和6年度尾道市病院事業会計補正予算（第3号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第113号	損害賠償の額を定めることについて	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第114号	修繕請負契約の締結について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第115号	財産の取得について（(仮称)尾道地区学校給食センター備品）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第116号	財産の取得について（(仮称)北部認定こども園厨房機器）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第117号	財産の無償貸付けについて	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○

議案番号	件名	議決結果	松原正侍	檀上政樹	土屋咲子	中西海斗	冠匡晃	村井温子	魚谷悟	岡野長寿	岡田広美	山根基嗣	二宮仁	大本和英	岡村隆	村上久美	福原謙二	前田孝人	石森啓司	宇根本茂	新地貴史	吉和宏	佐藤志行	星野光男	村上隆一	宮地寛行	高本訓司	巻幡伸一	新田賢慈	藤本友行
議案第118号	公の施設の指定管理者の指定について(尾道市道の駅)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第119号	公の施設の指定管理者の指定について(尾道ふれあいの里)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第120号	公の施設の指定管理者の指定について(尾道市立図書館・芸予文化情報センター)	原案可決	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第121号	公の施設の指定管理者の指定について(尾道市長者原スポーツセンター)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第122号	公の施設の指定管理者の指定について(尾道市向島運動公園)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第123号	尾道市営専用駐車場設置及び管理条例及び尾道市営千光寺公園南斜面専用駐車場設置及び管理条例を廃止する条例案	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第124号	尾道市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例案	原案可決	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第125号	尾道市営住宅設置、整備及び管理条例の一部を改正する条例案	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第126号	尾道市学校給食共同調理場設置条例の一部を改正する条例案	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第127号	令和6年度尾道市一般会計補正予算(第5号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第128号	令和6年度尾道市港湾事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第129号	令和6年度尾道市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第130号	令和6年度尾道市夜間救急診療所事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第131号	令和6年度尾道市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第132号	令和6年度尾道市渡船事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第133号	令和6年度尾道市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第134号	尾道市職員給与条例等の一部を改正する条例案	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第135号	尾道市特別職員給与に関する条例の一部を改正する条例案	原案可決	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第136号	議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例案	原案可決	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○
建第11号議案	核兵器禁止条約第3回締約国会議へのオブザーバー参加を日本政府に求める意見書(案)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○
請願	請願の議会閉会中の継続審査に付することについて	可決	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

ピックアップ議案 —この議案ってどんなこと??—

※1万円未満切捨

議案第117号 財産の無償貸し付けについて

地域公共交通の維持を図るため、おのみち渡し船株式会社に対し、尾道市が建造する渡船を無償で貸し付けるものです。

議案第127号 令和6年度尾道市一般会計補正予算(第5号)

主なもの

物価高騰重点支援臨時給付金給付事業 …………… 7億3,822万円

※国の「デフレ完全脱却のための総合経済対策」にもとづき、令和6年度新たに住民税非課税か住民税均等割のみ課税となった世帯を対象に給付金を給付します。

請願 結論を得るまでの継続審査としました

※継続審査とは…

会議に付された事件について、当該会期中に議了できず、特に会議で議決した場合に限り、案件の付託を受けた委員会が閉会中も引き続き審査を行うことをいいます。

学校給食への公的補助を強め、 完全無償化を求める請願（要約）

家庭の負担を減らすために給食費の無償化はとても重要な政策であり、尾道市においても、今こそ学校給食の無償化を決断する時である。食の安全や環境問題への関心が高まるなか、有機農産物を給食に取り入れる地域が増えている。学校給食に地場産食材を多用し、有機農産物を取り入れることは子どもたちのため、また地域農業の振興や環境保全にもつながる。よって以下請願する。

- 1 学校給食への公的補助を強め、尾道市として完全無償化としてください。
- 2 学校給食に地元食材はもとより、有機農産物を使用し、子どもたちの健やかな成長を保障してください。

意見書

※意見書とは、市の公益に関することについて、議会としての意思を意見としてまとめた文書で、国会や関係行政庁に提出します。

12月定例会では下記の意見書を可決し、関係機関に提出しました。

核兵器禁止条約第3回締約国会議への オブザーバー参加を日本政府に求める意見書（要約）

核兵器の開発や保有、使用などを禁止する核兵器禁止条約の締約国は、発効から3年が経過し、73か国に達しました。

日本はこの条約に対し批准をしていますが、「核廃絶の出口に当たる重要な条約である」と高く評価しています。

唯一の戦争被爆国であり、核保有国と非保有国との橋渡しを目指す日本が、多くの非保有国で構成される締約国会議にオブザーバー参加することにより、非保有国と意思疎通を図り、そのメッセージを核保有国に伝える重要な役割を果たすことができます。

よって、政府及び国会におかれましては、核兵器をめぐる情勢が混迷の様相を呈する今こそ、核廃絶の議論を前に進めるため、3月に予定されている次回の締約国会議にオブザーバー参加されるよう強く要望します。



委員会 視察報告

総務経済委員会

委員長 巻幡 伸一

令和6年11月11日～12日 視察先：大分県大分市・福岡県福岡市

大分市では、新たなモビリティ事業について説明を受けました。地域公共交通の利用率を高めるためには、市民の移動の確保をしていく観点から、地域の実情やニーズを把握するためにも市民の議論を重ねていくことの必要性を感じました。



大分市



福岡市

福岡市では、空き家対策事業の取り組みについて説明を受けました。危険家屋、不良家屋などの問題や斜面地といった地理的要因による空き家対策の重要性を改めて感じました。

福祉環境委員会

委員長 前田 孝人

令和6年11月12日～13日 視察先：静岡県島田市・富士市

島田市へは、新病院建設について視察しました。島田市の旧病院は、施設の老朽化など課題が出ており、尾道市民病院と同様の状況であったと思われました。新病院建設に伴い、数年間は企業債の償還等の費用増大があり厳しいものがあつたが、開院後収益が改善しており引き続き経営努力に努めるとのことでした。

富士市新環境クリーンセンターは、富士市の循環型社会、また低炭素社会の形成に向けての中心的な役割と機能を有する施設とのことでした。今後尾道市でも循環型センターについて取り上げられるようになると思われるので、大変参考になりました。



島田市立総合医療センター
へリポート



富士市新環境クリーンセンター
スクリーン資料による研修

教育スポーツ委員会

委員長 高本 訓司

令和6年11月13日～14日 視察先：京都府京都市立洛友中学校・滋賀県彦根市

京都市では、京都市立洛友中学校へ伺い、「学びの多様化」について視察しました。不登校児童生徒の支援体制が組織的に構築されていました。校内での子どもたちのいきいきとした姿、先生方の情熱にあふれた言動が印象的でした。



京都市立洛友中学校



彦根市議会

彦根市では、「不登校対策・フリースクール等民間施設利用児童生徒支援補助事業」について伺いました。「学校支援・人権・いじめ対策課」を設置し諸問題に取り組みされており、その影響もあつてか、近年の出生数の減少程度が全国平均程度にとどまっているとのことでした。

両市とも、大変参考になりました。

市民の声をきく会



尾道市議会では、市民のみなさまの声を集めるため、10月15日～31日までの間に「市民の声をきく会」を6会場で開催しました。

開催前には、ケーブルテレビやFMおのみちでのPRに加え、尾道駅前や店舗の店頭前で議員が案内チラシ配布を行うなど、一人でも多くの方にご参加いただけるよう努めました。

おかげさまで、下記の表のように多数のご参加を賜り、誠にありがとうございました。

皆さまからは、地域の安全、経済活性化、医療・福祉、有害鳥獣対策、ごみ・下水処理、環境、学校教育、給食、公民館、公園・スポーツ施設に関することなど、幅広いテーマにご意見をいただきました。貴重なご意見を議員間で共有し、今後の議会活動にしっかり生かしてまいります。(後半ページに記録を掲載)



尾道駅前、店舗前で議員がPR

「市民の声をきく会」参加人数

会 場	日 程	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	合計
市役所本庁	10/15 (火) 19:00~20:30	0	1	0	5	10	15	1	32
ベイトウン尾道 (東尾道)	10/20 (日) 14:00~15:30	0	4	2	9	4	6	0	25
土生公民館 (因島)	10/22 (火) 19:00~20:30	1	1	0	1	3	6	2	14
みつぎいこい会館	10/24 (木) 19:00~20:30	0	0	1	1	9	8	2	21
向島公民館	10/29 (火) 19:00~20:30	0	1	3	6	7	8	2	27
瀬戸田市民会館	10/31 (木) 19:00~20:30	0	0	0	2	11	5	1	19
合 計		1	7	6	24	44	48	8	138

各会場の様子



市役所本庁
10月15日（火）19時～
32人の方がご参加。



ベイタウン尾道（東尾道）
10月20日（日）14時～
25人の方がご参加。



土生公民館（因島）
10月22日（火）19時～
14人の方がご参加。



みつがいこい会館
10月24日（木）19時～
21人の方がご参加。

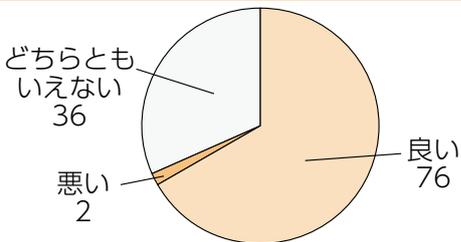


向島公民館
10月29日（火）19時～
27人の方がご参加。



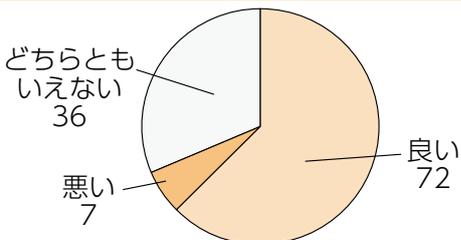
瀬戸田市民会館
10月31日（木）19時～
19人の方がご参加。

開催時期 (単位：人)



開催時期	①良い	②悪い	③どちらともいえない	合計
市役所本庁	18	0	7	25
ベイタウン尾道	15	0	7	22
土生公民館	9	0	5	14
みつがいこい会館	14	0	4	18
向島公民館	15	1	4	20
瀬戸田市民会館	5	1	9	15
合計	76	2	36	114

開催時間 (単位：人)

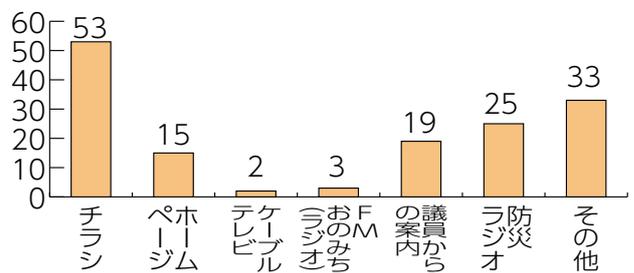


開催時期	①良い	②悪い	③どちらともいえない	合計
市役所本庁	18	1	7	26
ベイタウン尾道	11	2	9	22
土生公民館	8	1	5	14
みつがいこい会館	16	0	2	18
向島公民館	12	2	5	19
瀬戸田市民会館	7	1	8	16
合計	72	7	36	115

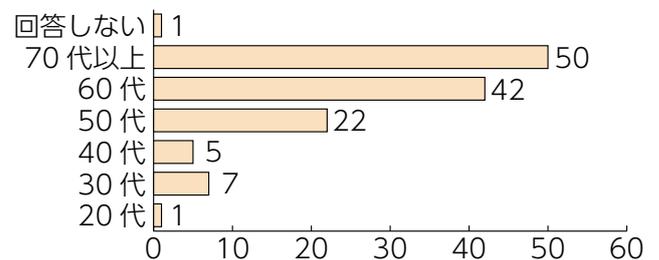
来場者アンケート

ご参加の方によるアンケートからは、年代別で高齢者の方が多く、若い世代の参加が今後の課題と感じます。また、防災ラジオが意外と役立っていることも分かりました。

参加のきっかけ (単位：人)



年代別 (単位：人)



みなさまから、たくさんの声をいただきました。

各会場で出されたご意見等を掲載しています。
重複したご意見もありますことをご了承ください。

総務経済委員会

市の財政、商工・農林水産・建設、防災・消防に関することなど

市役所本庁

- ・尾道市に公益通報制度があるか。
- ・長江通りの安全について、車椅子で通行する人のことをどのように考えているか。
- ・今年だけで、収賄、盗撮、飲酒といった3件の不祥事があった。今後の対応は。
- ・談合事件について今後の対処・考えを聞かせていただきたい。
- ・江奥から森金までの道路の延長があるのか。
- ・溜池のイノシシ対策を鉄からステンレスにできないか。
- ・尾道市の会計を複式簿記にしてはどうか。東京都では、平成18年から複式簿記である。
- ・南海トラフなどの災害が起こった際の防災の取り決め、ルールは。
- ・災害時、サンボルは浸水するが、避難所とされているのは良いのか。
- ・尾道市の人口減少に対する議会としての取り組みは。
- ・尾道駅から市役所まで AED が7つしかないのはなぜか。
- ・市役所本庁の1階トイレに AED の設置があるが、分かりにくい。
- ・本局、郵便局と商工会議所のいずれも AED の設置がない。
- ・島根原発が再稼働された場合の問題点などを市民に周知してほしい。
- ・市役所に猫課を作って欲しい。
- ・大林監督を名誉市民にしてほしい。
- ・福屋跡地の1階と地下のテナントは何が入るのか。日用品とか食料品を希望。
- ・桜土手の溝の管理や掃除を高齢の町内会だけで行うのは負担が大きい。
- ・栗原・久山田線の道路に、石とか岩がある。道路管理の状況は。
- ・イノシシやシカが道を荒らして困る。市の対策は。
- ・桜土手の川が増水して困る。土砂を除去してほしい。
- ・桜の季節の前に桜土手を綺麗にしていきたい。
- ・県は促進を進めていると聞くと、市はコオロギ

食を推進しないでほしい。

- ・市民病院と市立大学図書館の件について、市議会の対応は。

ベイタウン尾道（東尾道）

- ・パートナーシップ制度（同性婚）について、市の動向は。
- ・避難所について（衛生体制・備蓄食料の状況は）飲料水の確保は大丈夫か。
- ・高齢者にとっては、避難所までが遠く、建物も古く、狭い。
- ・道路の補修、カーブミラーの点検を定期的に見回してほしい。
- ・しまなみ海道の通行料金を軽減してほしい。
- ・中央図書館の運営委託料が高いのでは。
- ・市職員の不祥事における市の対応が不十分ではないか。
- ・市道の幅員が減少したため、緊急車両が通行できず困っている。
- ・もっと民間の力を活用して、スピード感を持った取り組みをすべきでは。

土生公民館（因島）

- ・議会のチェック機能が果たされているのか。
- ・理事者とのコミュニケーション不足ではないか。
- ・因島中庄町に不法建築の工場があるが、市の対応はどうなっているのか。
- ・あおかげ峠のバス停は、入口・出口の両方でできるのか。
- ・市道に個人の所有物を置いているが、担当課に言っても改善されない。
- ・外国人向けに案内板等を多言語表記にしてはどうか。
- ・人口減少対策の取り組み状況はどうか。
- ・因島図書館への道路の草刈りをしてほしい。
- ・サイクリストのために山田鬼岩線の草刈りをする際、側溝が深いので、蓋があればよいと思う。
- ・金山の奥の工場から出る夜8時までの騒音に困っている。
- ・あおかげ住宅を退去した人の荷物が置き放しである。市で対応してほしい。
- ・夜9時まで議会（委員会）が開かれるのはおかしい。

- ・防災備蓄食料のチェック（賞味期限・個数等）

みつぎいこい会館

- ・新文化会館を多くの人が利活用してほしい。
- ・セイタカアワダチソウの駆除をしてほしい。
- ・人口流出を食い止める市の対応・対策はどうか。
- ・市立大学生へ尾道市内への就職の働きかけは。
- ・地元住民での奉仕作業に市から原材料を支給してほしい。
- ・防災ラジオを聞きやすくしてほしい。
- ・高齢ドライバーのブレーキの踏み間違い防止装置に助成してほしい。
- ・耕作放棄地の増加で、農業者の減少が心配だ。
- ・学校給食に地元食材の利用を推進してはどうか。
- ・有害鳥獣を早急に減少させてほしい。
- ・農地・山林の維持に苦慮している。
- ・木ノ庄東幼稚園の閉園後の予定は。
- ・原田・美木地区の通学路を整備してほしい。

向島公民館

- ・避難備蓄品について、アレルギー対応の品目を増やすべきである。
- ・会派制をとっていることで、弊害があるのでは。
- ・会派の中で意見が分かれた時、結局、会派の意見が尊重されるのか。
- ・公衆トイレが少ない。
- ・職員の汚職事件について、第三者委員会を設け

- るべきでは。
- ・自然活用村の民間売却後も、避難所として利用できるのか。
- ・ユニセックストイレは、使い勝手が悪い。
- ・島根原発で有事が起きた際、避難者を受け入れる体制があるのか。
- ・福本渡船の廃業による交通不便

瀬戸田市民会館

- ・イノシシの被害がすごいので、対策をしてほしい。
- ・農家の後継者不足への対策をしてほしい。
- ・生口島に移住してくる人達を増やしてほしい。生口島の良さをもっと発信してほしい。
- ・垂水栈橋付近の護岸整備をしてほしい。
- ・密猟をしている人に対して、行政から注意喚起をしてほしい。
- ・生口島からだと橋代の負担が大きい。県の予算の1%でも取ってきて橋代の予算に。
- ・移住してきたばかりで、要望をどこに言っていないか分からない。
- ・道路（農道）が荒れているので整備してほしい。
- ・人口減少に歯止めをかける政策をしてほしい。
- ・橋代軽減として、島民に住民割引を。生活道として何らかの手当てがしてほしい。
- ・議員はハード面とソフト面の予算の割合を把握しているのか。ハード面が多いのでは。

福祉環境委員会

子育てや医療・福祉、上下水道、環境に関することなど

市役所本庁

- ・レプリコンワクチンの情報を周知してほしい。
- ・運転免許証返納後の交通手段がないので困っている。
- ・バス運行の減便・廃止で、通院・買い物が困る。
- ・交通費の助成や巡回バスをお願いしたい。
- ・短期集中型通所施設サービスをもっと広く宣伝したり、増やしてほしい。
- ・ごみの分別を周知・徹底してほしい。
- ・浄化槽の業者検査と県の検査。処理に使用する薬品は安全か。
- ・公共下水道と合併浄化槽との料金の差異について教えてほしい。
- ・民生委員を一般公募にしてはどうか。
- ・除草剤の安全性について不安がある。
- ・子どもと保護者の居場所づくり
- ・災害時の避難場所がない。

ベイタウン尾道（東尾道）

- ・市民病院の建て替え（東尾道へ移転新築で大丈夫なのか）

- ・市民病院・公立みつぎ総合病院・尾道総合病院の協議内容を開示してほしい。
- ・因島総合病院の廃止により、不自由になる人がいる。
- ・コロナワクチン後遺症の情報を開示してほしい。
- ・コロナワクチン後遺症の救済制度が分かりにくい。
- ・産業廃棄物処理に関する条例制定の予定はあるか。
- ・ゼロカーボンシティをめざすなら、二酸化炭素排出量を公開してほしい。
- ・乳幼児医療費をもっと軽減（無料に）してほしい。
- ・子ども食堂を増やしてほしい。
- ・衣料品のリサイクルをすすめてほしい。
- ・おむつの定期便は、無資格の人が配っているのか。
- ・子どもが急病になっても預ける場所がないので、3人目が産めない。

土生公民館（因島）

- ・合併浄化槽の設置状況を確認してほしい。

- ・現場を見て、側溝も直してほしい。
- ・大雨が降ると民家に下水が流れて困る。
- ・身寄りのない方の死後が心配である。終活の世話を行政が担うことはできないのか。横須賀市・明石市では、市民が、生前に自分の死後の処理のためのお金を預ける制度があるが、尾道市ではどうか。
- ・水道事業の今後の予定はどうか。
- ・道路の溝蓋が壊れているので、早急に修理してほしい。
- ・敬老会があっても行かない人が多い。
- ・重井中学校の今後はどうなるのか。
- ・市民病院の建て替え 因島にとっては高須が立地的には良い。
- ・因島総合病院の跡地利用はどうなるのか。

みつぎいこい会館

- ・レプリコンワクチンの情報を周知してほしい。
- ・下水道の普及状況はどうなっているのか。
- ・燃やせるごみが増えているのは、ごみの分別ができていないからではないか。
- ・ごみ袋を有料化してはどうか。
- ・最終処分場の現状と今後の取り組みは、どうなっているのか。
- ・ごみ収集の人員減少で、事故が増えているのではないかと不安。
- ・電動コンポストの購入助成をすれば、生ごみが減少するのではないか。
- ・公立みつぎ総合病院を存続してほしい。
- ・病院職員600人の雇用がなくなると、御調の過疎化が進んでしまう。
- ・空き家対策の取り組みはどうか。
- ・町内会に加入していない人へのごみ捨ての対応はどのようにしたらよいか。
- ・高校通学にかかるバス助成をしてほしい。
- ・外来植物のセイタカアワダチソウを駆除してほしい。
- ・道路の白線が消えているのは、速やかに対応してほしい。
- ・コロナワクチンを接種しなくても、自己免疫力を上げて重症化を防げるのでは。

向島公民館

- ・子育て支援の充実を求める。

教育スポーツ委員会

学校教育、生涯学習、スポーツ施設、公民館に関することなど

市役所本庁

- ・学校統合は、市全体で考え、スクールバスを活用しては。
- ・尾道みなと小中学校は新築で、因北・重井はり

- ・月1回のオムツの配達だけでなく、その際に悩みも聞いて市政に反映させてほしい。
- ・市として介護士の報酬を上げるなど、介護士の確保への対策をしているのか。
- ・マイクロプラスチックへの対策をしているか。(漁師のフロートなど)
- ・子どもと高齢者が触れ合える仕組みづくりをしてほしい。
- ・民生委員の確保が困難、一般公募できるように体制づくりをお願いする。
- ・福祉バス、福祉タクシー、安価な高齢者の移動手段を確保してほしい。
- ・シルバーリハビリ体操は申し込みが必要である。もっと大勢参加できる体制を整えてほしい。
- ・少人数の学校の統合を進める方が良い。
- ・温暖化で海の環境が変わった。将来が心配だ。
- ・タバコは精神疾患の原因になる、街中でも禁煙を進めてほしい。
- ・ソーラーパネルの設置による環境への影響が心配である。
- ・獣害駆除者に対する報酬や道具の補助が必要ではないか。
- ・市民病院新築に関して、人口が減っていく中での今後のビジョンはいかがか。

瀬戸田市民会館

- ・瀬戸田では、巡回バスを運行しないのか。
- ・しまなみ海道の通行料金の軽減を望む。
- ・ごみの分別について、外国人への周知が不十分
- ・家電のリサイクル料金に加えて収集運搬委託料を請求された。
- ・おむつ購入助成について(タクシー券やバス券等を利用できない高齢者へ対して)
- ・横断歩道の消えた白線は、早急に補修してほしい。
- ・市民病院の建て替え建設について
- ・介護用品の購入助成の拡大について(洗剤も対象にしてほしい。)
- ・三原市の沼田川水系から取水する水の安全性はいかがか。
- ・のら猫対策について(餌だけ与える人がいて困っている。)

- ・フォームなのは、なぜか。
- ・既存の施設を利用し、子どもや保護者のプラスになるような使い方をしてほしい。
- ・通学路などの整備は、インフラ整備ではないのか。

- ・少子化が進むのに、なぜ新校舎を建てるのか。
- ・プールが必要なのか。市民プールを利用すればよいのでは。
- ・体育館にエアコンを設置してほしい。(避難所の観点からも)
- ・課題を持った子どもをサポートしている認可外施設にも助成してほしい。
- ・様々な事業や箱モノ建設後の総括ができていない。
- ・PDCAサイクルを行い、検証・改善してほしい。

ベイタウン尾道 (東尾道)

- ・学校給食で、牛乳の飲用について選択はできないのか。
- ・弁当にするか給食にするかの選択があっているのでは。
- ・制服の自由化があってよいのでは。
- ・市立大学図書館は、久山田ではなく、もっと交通条件の良い場所の方がよいのでは。
- ・統廃合は、廃校後の校舎の活用など、将来性を考えてするべきでは。
- ・男女混合名簿を早く実施してほしい。
- ・安全な通学路、横断歩道の整備費を予算化してほしい。
- ・女子トイレに生理用品を配備してほしい。
- ・小中学校統合について、地元協議が不十分ではないか。

土生公民館 (因島)

- ・公民館の施設規模や利用状況は、地域差が大きいと思うので均一化してはどうか。
- ・市全体で社会教育が充実することを要望する。
- ・公民館での行事の周知や、予約方法・予約状況を分かりやすくしてほしい。
- ・重井・因北小学校の統合後は、学校選択制を緩和してほしい。
- ・はっさく交流館のリハビリプールは、通年で利用できるようにしてほしい。
- ・みなと小中学校建設費の適正なチェックを望む。
- ・みなと小中学校の屋上プール建設は危険でもあり、コストアップではないか。
- ・屋内運動場の避難所には非常用電源を設置してほしい。
- ・学校でのプール授業は、民間プールに任せてはどうか。
- ・小学校の再編時には、小規模校のメリットも考慮して考えてほしい。
- ・余裕のある教員配置を望む。
- ・教員の労働環境を改善して、成り手不足を解消してほしい。

みつぎいこい会館

- ・ソフトボール球場の施設整備をお願いしたい。
- ・公民館の整備、高齢者に配慮した施設整備をしてほしい。
- ・まちづくりと教育は、一体ではないか。
- ・地域の人と子どもが接する場づくりと、自然環境を活かしたまちづくり、教育を推進してほしい。
- ・木ノ庄東幼稚園閉園後の園児の通園が心配だ。
- ・通学路の整備は、絶対必要である。
- ・学校と地域との結びつきが弱くなっているように思う。
- ・地域文化を大切にしたい教育活動が必要では。

向島公民館

- ・学校給食の飲用牛乳選択制をすすめてほしい。
- ・公民館の図書を充実し、高齢者の活躍の場・情報発信の拠点として複合的な利用をしてほしい。
- ・市のイベントを周知するQRコードが壊れていた。
- ・オーディオブックが便利なので、広めてほしい。
- ・学校図書館司書が5人しかいない。
- ・学校のトイレに生理用品を配置してほしい。
- ・図書館の図書の内容にばらつきがあるので、精査して整備してほしい。
- ・オーガニック給食を推進してほしい。
- ・若手有機農業者の支援をしてほしい。
- ・放課後児童クラブや部活動(地域移行)の運営状況はどうか。
- ・放課後児童クラブ指導員の労働環境の改善につとめてほしい。
- ・子どもの居場所が少ない。
- ・残給食は、学校にコンポストを設置し循環する仕組みを作ったらどうか。
- ・学校給食の米飯の頻度はどうか。
- ・小麦アレルギー者のパン給食の対応は。米粉パンを要望する。
- ・人口減少・少子化対策の取り組みはどうか。

瀬戸田市民会館

- ・部活動(地域移行)の進捗状況はどうか。
- ・地域と児童・生徒との交流の機会を増やしてほしい。
- ・少子化・人口減少対策の取り組み状況はどうか。
- ・学校の統廃合について、今後の予定はどうか。
- ・もっと国宝・文化財の周知してほしい。
- ・公民館の利用率・講座内容等について精査が必要では。
- ・公民館のWi-Fi環境を充実してほしい。
- ・教員不足について、定数法の改正が必要と思うが、国へ意見書を提出してほしい。

尾道市議会・今治市議会 姉妹都市合同研修会

11月1日、尾道市議会・今治市議会姉妹都市合同研修会が尾道市役所本庁で開かれました。昼食を兼ねた懇談会後の研修では、尾道市出身の著名なマンガ作家・かわぐちかいじさんによる講演が行われました。

講演では、「未来につながるマンガ文化（描きながら考えること）」と題して、かわぐちさんが自身の作品を通じて伝えたいメッセージや、地域社会への思いを熱く語られました。また、マンガのストーリー作りにおける発想法や、地域

の歴史や文化を題材にする意義についても触れられ、地域振興や次世代へのメッセージとして深い感銘を受けました。

両市の議員たちは、この講演を通じて、文化を活用した地域活性化の可能性について新たな視点を獲得する機会となりました。

両市の議員同士の交流が一層深まり、今後の協力関係がさらに強固なものになることが期待される研修会でした。



市議会からのご案内

2月定例会の日程

2月 7日	議会運営委員会	10:00
2月14日	本会議（開会）	13:30
2月17日	予算特別委員会（補正予算）	10:00
2月19日	本会議（総体説明）	13:30
3月 5日	本会議（総体質問）	10:00
3月 6日	本会議（総体質問）	10:00
3月10日	予算特別委員会（新年度予算）	10:00
3月11日	予算特別委員会（新年度予算）	10:00
3月12日	予算特別委員会（新年度予算）	10:00
3月13日	予算特別委員会（新年度予算）	10:00
3月14日	予算特別委員会（予備日）	10:00
3月19日	本会議（閉会）	13:30

※2月定例会の日程は2月7日の議会運営委員会で正式に決定しますので、変更の可能性があります。

※傍聴を希望される方は議会事務局までお越しください。座席は先着順です。

★「市議会」や「おのみち市議会だより」に対するご意見、ご感想をお寄せください。お寄せいただいたご意見は今後の参考とさせていただきます。

編集後記

今回は「市民の声をきく会」の特集でございます。

10月中旬から市内6会場で開催いたしました。3つの常任委員会に分かれて、それぞれ所管の内容につきまして、多くのご意見、ご提言等を拝聴しました。「頂戴したお声はすべて掲載を。」との想いで、今回は4ページ増とさせて頂きました。

早速12月議会で取り上げられた内容もございます。今後とも、皆さまから寄せられました貴重なお声を市政に反映、実現すべく、尾道市議会一丸となって尽力してまいります。

議会だより編集委員会委員

委員長：岡村 隆

副委員長：二宮 仁

新地 貴史 中西 海斗 冠 匡晃

檀上 政樹 岡野 長寿 新田 賢慈

お問い合わせ先

尾道市議会事務局

〒722-8501 尾道市久保一丁目15番1号

TEL 0848-38-9371 FAX 0848-38-9339

次号は令和7年5月12日発行予定です。

